

色鮮やかなドレスなどを身にまとった出演者ら＝川崎市多摩区



川崎でユニバーサル
ファッションショー

車いす利用者ら出演

便利な服で
おしゃれを

川崎 横浜



地域ワイド

報道部
☎045(227)0140
コミュニケーション局
☎045(227)0080
川崎総局
☎044(222)4455

体が不自由でも年を取っても、誰もが着やすい服でおしゃれを楽しんでもらおうという「ユニバーサルファッションショー」が16日、川崎市多摩区の同区総合庁舎で開かれた。車いす利用者や高齢者ら約40人が「モデル」となり、色鮮やかなドレスなどを着て出演。華やかな雰囲気包まれた。(山下 徹)

「ユニバーサルファッション」は、誰にとっても着やすくおしゃれで、自立した生活を維持しやすい便利な服などのこと。ショーはボランティアグループ「系の詩」(栗田佐穂子代表)が企画し、今回で13回目。

ショーでは、指が不自由な人でも楽に留められるよう、マグネットボタンが付いたアロハシャツや、車いすに座ったままでも着脱しやすいウエディングドレス

など、約40点を紹介。モデルたちはポーズを取るなどし、会場は大いに盛り上がった。栗田代表は、「出演してくれたモデルたちの笑顔をみて感動した。障害者や高齢者でもこうした方法でおしゃれができるということ、今後広めていきたい」と話していた。

車いす利用者で、同市高津区の大学4年生、煙石晴加さん(21)はピンク色のドレスを着て出演。「これまでは着たくても勇気がなく、踏みだせなかった。華」と話していた。